

(公社) 長野県防犯協会連合会平成29年度事業報告

公益社団法人長野県防犯協会連合会では、平成29年度の事業活動の目標を

「地域のきずなで安全で安心なまちづくり」

と定め、推進重点を

① 安全・安心な地域の実現に向けた「絆」や「連帯感」、「規範意識」の醸成

② 子ども、女性、高齢者に係る犯罪被害の防止

③ 地域防犯協会、自主ボランティア、警察・自治体等の関係機関・団体との協働とし、真に犯罪の起きにくい社会の実現を目指して、各種の防犯事業に取り組んできたところ、防犯に携わる関係各位のご努力により、県内治安は、刑法犯の認知件数がピーク時（平成13年）の約三分の一、戦後最少を記録し、数値的には大きく改善がみられます。また、特殊詐欺被害につきましても、被害額で前年比2億2千万余、約45%の減少となり、継続して広く県民への啓蒙活動を行ってきた成果が表れております。

しかしながら、特殊詐欺の被害件数そのものは、増加傾向にあるほか、ストーカー事案やDV、つきまとい事案等、犯罪の種類によっては増加し又は脅威が増しているものもあります。

加えて、地域の「絆」や「連帯感」、「規範意識」など、社会の安全・安心に寄与してきた様々なシステムは、少子高齢化の進展、世帯規模の縮小、地域との関わりの希薄化といった各種の情勢変化により、従来と同様に維持、機能させることが容易ではなくなっており、安全・安心を真に実感できる社会の実現には、まだまだ課題は多い状況です。

このため、公益社団法人長野県防犯協会連合会は、今後とも各種の防犯活動を積極的に推進してまいります。

平成29年度に実施した、具体的な事業推進状況は以下のとおりであります。

1 防犯意識の普及高揚

(1) 県民の犯罪に対する防犯意識の高揚と自主防犯行動の促進

「全国地域安全運動」、「年末の特別警戒」、「各季節の地域安全運動」時や各地域のボランティアによる街頭啓発活動時等において、立て看板・ポスターの掲出やチラシを配布するなど、振り込み詐欺等の特殊詐欺の被害防止、子ども・女性被害に係る犯罪、自転車盗などの街頭犯罪、その他身近で発生する各種犯罪の被害防止の意識付けと防犯意識の高揚を図った。

- ・ 全国地域安全運動啓発ポスター 1,000枚
- ・ 同 チラシ 9,000枚
- ・ 年末特別警戒啓発ポスター 6,000枚

- ・ 同 チラシ 20,000枚
- ・ 同 カレンダー 3,000枚

(2) 小・中学生対象の防犯ポスターコンクールの実施と防犯カレンダーの作成

- 子どもたちの防犯意識の向上、家庭における防犯思想の啓蒙のため、防犯ポスターコンクールを実施した。

応募総数：348校 8,492点（県最終審査171点）

県審査会開催 10月5日(木) 長野県庁講堂

- 知事賞3点を含めた銀賞以上60点を、県下5カ所の展示会場に展示して、広く県民の防犯思想の普及に努めた。
- 知事賞3点を掲載した、地域安全広報用カレンダーを作製し、市町村、金融機関、コンビニ等に配布・掲出し、防犯思想の普及啓発に努めた。

(3) 視聴覚を活用した県民の犯罪に対する防犯意識の高揚と自主防犯行動の促進

新たに、女性や子どもを犯罪から守るための「あぶないめにあったときは?」、
「子ども防犯スクール、ネット・SNSトラブル編」のDVDを購入し、既存の「地域の防犯対策」、「住民のパトロール要領」、「子どもを犯罪から守るための防犯活動」、「薬物乱用防止」などを内容とした防犯DVD等と合わせて、各地区防犯協会を通じて貸し出し、各種会合等で県民に鑑賞していただき、防犯意識の高揚に努めた。

- ・ DVD等106タイトル158本
- ・ 防犯講習会等開催回数63回
- ・ 貸出しDVD利用本数63本
- ・ DVD鑑賞延人数 約7,000人

(4) 機関紙「防犯信州」や地域安全ニュースの提供による自主防犯意識の醸成

- 発生した事件情報や注意すべき防犯対策、各地域の防犯ボランティアの活動などを「防犯信州」に掲載して、県民の防犯意識の高揚に努めた。
- 特に、振り込み詐欺等の特殊詐欺についての特集記事を掲載するなど、地域ごとの特性に対応した地域安全ニュースの発行に積極的な支援を行い、悪質犯罪の抑止に努めた。

(5) 地域の絆や防犯機能を高めるための「挨拶運動」、「防犯当番制度」の普及

- 学童の登下校時間帯を中心に、挨拶、声かけ運動を働き掛けたほか、地域持ち回りによる「防犯当番札」の玄関掲出を働きかけた。
- 長野県が取り組む「信州あいさつ運動」（毎月11日「信州あいさつの日」）にも、積極的に参画・広報し、子供たちを元気づけ、地域ぐるみで、子どもたちのすこやかな成長を応援するための県民意識の高揚を図った。

(6) 防犯意識高揚のため「防犯セミナー」の開催（県民文化部との共催）

地域住民の防犯意識の向上と自主防犯ボランティア活動の活発化を図るため、「防犯ボランティア地域交流会」に合わせ、長野県との共催による

- ・ 講師 (公社)大阪府防犯協会連合会 会長 池崎 守 氏
- ・ 演題 「安全な暮らしを創る新たな地域の挑戦」

の講演会を開催した。(受講者400名)

2 次世代を担う若手防犯ボランティア育成支援

(1) 育成研修会の開催

9月22日(金)長野市トイゴにおいて、警察本部で委嘱している大学生ボランティア「信州ライポ隊」に対する研修会を開催し、次世代を担う若者による防犯活動への取組促進を図った。

(2) 次世代ボランティア育成のための支援

次世代ボランティア育成のための支援として、ユニホームの配布や「青少年の立ち直り支援活動」への支援を実施した。

3 警察本部主催イベントへの支援

10月14日(土)長野市青木島町「青木島ショッピングパーク」において、「信濃グランセローズ」及び長野大会で優勝し全国大会に出場した中学生硬式野球チーム「長野ボーイズ」と連携し、「特殊詐欺に完全勝利!!」をスローガンにした、啓発活動実施に際し、啓発物品の提供などの支援を行った。

4 特殊詐欺防止対策

(1) 各地域防犯協会等への支援の強化

「特殊詐欺、ひとつとじゃない」の一層の定着のため、街頭活動用広報・啓発用物品を作製・配布した。

- ・ 特殊詐欺被害防止啓発用ポケットティッシュ 21,000個
- ・ 同 マスク 10,000枚

(2) 年金支給日の各地区金融機関での啓発活動の強化

年金支給日における啓発活動を支援するため、特殊詐欺被害防止啓発用の小型で年金通知や通帳類が収められ、バッグにも容易に収まるチャック付「クリアケース」を新たに5,530枚作製し配布した。

(3) マスコミ等各社との連携による広報活動の強化

- 日本郵便社会貢献「特殊詐欺被害防止かもめ〜る」での啓発
27,400戸へ配達(信越郵政直轄分のみ、各地区防犯協会対応分除く)
- ラジオ放送でのお盆期の空き巣など盗難被害・特殊詐欺被害防止呼びかけ

SBC ラジオ 8月1日から10日間 30秒又は60秒CM 11回放送

○ 新聞紙上での啓発

- ・ 信濃毎日新聞～年末防犯・特別警戒
- ・ 日本経済新聞～新学期の子どもの安全を守る
- ・ 産経新聞～地域の安全を守る警察官の活動

(4) 県民文化部（くらし安全・消費生活課）と協働した住民参加型訓練の周知

(5) 警察本部で配信している「特殊詐欺警戒情報」の周知

特殊詐欺の前兆電話などを認知した場合に「ライポ君安心メール」や「ヤフー防災速報」で、その手口や対策などの速報を配信している警察からの情報提供を周知するため、防犯ボランティア地域フォーラム等において、利用方法などのアドバイスを実施し、その周知と利用の促進を図った。

5 防犯対策の調査研究

(1) 地域安全・安心ステーションモデル地区の検討

地域住民が、自主防犯活動に取り組む際の活動拠点となる、地域安全・安心ステーションモデル地区の活動と今後の方向性について検討を行った。

- ・ 地域安全・安心ステーションモデル地区 18地区

(2) 各種刊行物等の購読及び他県の好事例の調査

- 全防連作成の「家庭と防犯」等の定期刊行物の購読
- 他県における先行事例の研修

6月15日（木）さいたま市において開かれた、管区内各県における効果的な防犯活動内容発表研修会に参加

6 防犯団体相互の連絡調整

(1) 防犯指導員、ホワイト・エンジェルス隊、防犯女性部、少年警察ボランティア協会、長野県万引防止対策協議会連合会、コンビニエンスストア防犯協会、金融防犯部会等との連携

- 特殊詐欺被害防止、万引防止対策等での連携
- 警察及び地域のボランティア団体と協働して、街頭犯罪、侵入犯罪の防止、子どもを守るための防犯パトロール、防犯診断を実施して犯罪の発生抑止に努めた。
- 犯罪の多発・危険地域を対象とした青色回転灯装着車による防犯パトロールを実施し、活動に対する積極的な支援を行った。
- 防犯女性部による子どもや女性、高齢者を対象とした、犯罪被害防止のための紙芝居・寸劇等の地域防犯活動に積極的な支援を行った。

(2) 防犯ボランティア保険の加入

防犯指導員、学生・現役世代の防犯ボランティアを中心に保険に加入し、安心して活動できるよう支援するとともに不測の事態に対応するとともに各種事故防止の徹底を図った。

(保険加入者数)

- ・ 防犯指導員 1, 350人
- ・ その他(学生・現役世代) 500人

(3) 地域安全県民大会・自主防犯ボランティア研修会の開催

県下で活躍する防犯協会員、自主防犯ボランティア、若い世代のボランティア等を集めての「地域安全フォーラム」を県下2会場で開催し、地域における日頃の効果的な活動事例の披露や、県当局との連携による部外講師による講演会の開催、防犯功労団体・個人表彰等を行い、防犯活動の研鑽と士気の高揚、県民の防犯意識の向上を図った。

- ・ 10月4日(水) 中南信地区対象(安曇野市「堀金総合体育館」)
- ・ 10月12日(木) 東北信地区対象(佐久市「交流文化館浅科」)
(参加者約400名)

(4) 金融機関、コンビニ、深夜スーパーなどを対象とした防犯対策の推進

- 防犯ポスター・チラシ、防犯カレンダーを配布し、注意の喚起に努めた。
- 警察と協力して、防犯対策会議を開催するなど、警戒活動の常態化と防犯訓練を通じての職員の危機管理意識の醸成に努めた。

(5) 県防連金融防犯部会の開催

県警の協力を得て、県下の金融機関防犯責任者、及び防犯実務担当者を招致して、金融機関強盗の現状と防犯対策、暴力団情勢と長野県暴力団排除条例、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の現状、年末防犯対策などの講演・協議を行った。

- ・ 開催日時・場所 11月1日(水)「ホテル信濃路」

7 防犯団体に対する指導・協力援助

(1) 防犯女性部による「地域安全フォーラム」の開催

中島副知事出席の下、各地域防犯協会の中核である防犯女性部長等を招致し、効果的な活動事例、活動の活性化と部員の勧誘、課題・問題点を発表・検討し、活動の活性化を図ったほか、警察本部の担当者による指導も行った。

- ・ 開催日時・場所 7月5日(水)「ホテル信濃路」

(2) 防犯指導委員長、ホワイト・エンジェルス隊長会議の開催

各地域の防犯活動において、リーダーとして常に中心的な役割を果たしている防

犯指導委員長、ホワイト・エンジェルス隊長等を招致し、部外講師による講演、活動事例、課題・問題点等の意見交換などを行い、活動のより活性化を図った。

- ・ 開催日時・場所 9月6日(水)「ホテル信濃路」

8 犯罪の抑止、特に「子どもや女性、高齢者被害」の犯罪予防活動

(1) 犯罪の発生状況に対応した各種防犯対策の推進

- 機関紙「防犯信州」(4月5日号子ども女性に対する声かけ事案の概況:6月5日号「許さない性犯罪」:6月25日号「痴漢は犯罪です」:10月25日号「配偶者暴力の現状と対策」:2月15日号「許さないDV」)や、新たに購入したDVD等を活用して、犯罪情報をタイムリーに発出し、防犯ポイントを広報と周知を図った。
- 警察署の係員同乗で、県防連の青色防犯パトロール車2台により、こどもの通学時間帯や地域の犯罪発生実態に応じた場所を重点に職員自ら防犯パトロール活動を実施して、犯罪の発生抑止に努めた。
 - ・ 防犯パトロール年間 190回実施、延べ従事員数 304人
- 地域の犯罪実態に応じて、警察署と連携しDVD活用の各種防犯教室を開催し、犯罪被害の防止と犯罪が起こりにくい環境づくりを行った。

(2) 子どもを守る防犯活動に対する支援

- 新入学児童の保護・安全を呼びかける新聞広告を、新学期が始まる直前の平成30年3月掲載(日本経済新聞)した。
- 各地域に設立された「子ども見守り隊」、「安全パトロール隊」等の自主防犯ボランティア団体への支援・表彰等、通学路周辺における安全確保のパトロール活動の活発化を行った。
- 新入学児童全員に対して、「子どもを守る安心の家」の活用方法や、知らない人から声をかけられてもついて行かない等5つの約束を、分かり易く解説した防犯下敷きを作製・配布し、子どもの犯罪被害防止に努めた。
 - ・ 防犯下敷き作成枚数 19,000枚
- 機関紙「防犯信州」、ライポくん安心メール等を活用した子ども安全情報を効果的に提供し、犯罪発生抑止に努めた。
- 防犯女性部を中心に「イカのおすし」のダンスや紙芝居、「防犯下敷き」(新入学児童等に配布)を活用して、参加・体験型の防犯教室を開催し、自己防衛・危険回避能力を身につけさせた。
- 各地域防犯協会や交番・駐在所に防犯機器を提供し、女性や子どもから、犯罪被害や不安を取り除くため、これらの防犯機器の貸し出しを行って犯罪抑止に努めた。

(3) 高齢者に対する犯罪被害防止対策の推進

各種の行事や会議の機会を捉えて「防犯教室」を開催し、犯罪情報や被害実例を交えた被害防止のための防犯対策を推進した。

(4) 「ライポくん安心メール」による防犯対策の推進

ホームページにリンクしている警察本部の「ライポくん安心メール」により、子ども・女性に対する声掛け事案、性的犯罪等の発生・検挙情報を迅速に伝達し、犯罪の発生抑止に努めた。

9 青少年の健全育成と非行防止と有害環境浄化活動の推進

(1) 機関紙による啓発

全国「青少年の非行・被害防止強調月間」に合わせ、機関紙「防犯信州」7月25日号紙面上で特集記事を掲載したほか、(11月5日号「許さない児童虐待」：2月25日号「性被害の相談や非行問題相談窓口の紹介」：3月15日号「子どもたちの非行・犯罪被害防止」、「児童虐待のない社会」、「作文コンクール全国入賞作品(命の大切さ)」などを掲載し、少年非行及び少年を取り巻く犯罪環境の実態を、県民に広報し、家庭や学校、社会の果たす役割、留意すべき事項等について周知を図った。

(2) 関係団体等への支援

- 長野県将来世代応援県民会議への支援
- 非行少年の立ち直り支援活動に取り組む大学生ボランティア等に対し、警察本部少年課と共にその支援に必要な経費の支援を行った。
- わが家のセーフティーリーダー制度、リトルリーグ野球連盟の活動に対する支援を行った。

10 暴力団組織の根絶と暴力団排除活動の推進

(1) 機関紙「防犯信州」暴力団対応要領について紹介するなどの暴排意識の高揚

(2) 警察、暴力追放県民センターとの連携により、風俗営業者に対する「管理者講習」等を通じての、風俗営業所、パチンコ店等からの暴力団排除活動を推進

(3) 上田市で開催された「第27回暴力追放県民大会」に防犯ボランティア多数参加による暴排意識の高揚と普及

11 覚せい剤等の薬物乱用防止と有害薬物排除活動

薬物事犯の現状と対策について、機関紙「防犯信州」6月15日号で関連記事を掲載し啓発を行ったほか、中・高等学校等へ、薬物乱用防止のためのビデオを貸し出し、薬物害悪の周知と遵法精神、規範・拒絶意識の醸成に努めた。

12 善良な風俗の保持と風俗環境浄化活動（公安委員会からの委託事業）

- (1) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に基づく管理者講習会の開催年間32回（402名受講）実施し、適正営業、改正法、条例の指導等を実施
- (2) 同法に基づく営業所の許可申請、構造設備の変更申請等に関する現地調査許可・変更に係る調査件数117件を適正に処理
- (3) 風俗営業所管理者対象の講習会、許可申請に伴う現地調査などを通じての善良な風俗と清浄な風俗環境保持の指導

13 機関紙「防犯信州」による広報・啓発

- (1) 犯罪の発生実態や防犯対策のポイント、地域安全活動の進め方、及び各地域ボランティアの活動状況をタイムリーに広報し、県民の防犯思想の普及・高揚に努めた。
 - ・ 年間32回発行：累計約20万部
- (2) 県・警察本部とも連携し、防犯対策上喫緊の話題を掲載するなど、広く県民に親しみをもって読まれる有用な記事の掲載に努めた。
- (3) 年々「防犯信州」購読者が大幅減少している現状から、購読者の拡大を図り、広く県民の防犯思想の普及高揚に努めた。（新規購読部数45部）

14 自転車防犯登録の効果的推進

- (1) 自転車安全利用・盗難防止の推進
自転車の安全利用・盗難防止、放置自転車等の対策として、警察本部と連携し、自転車防犯登録業務の効果的推進に努めた。
- (2) 適正な自転車防犯登録の推進
自転車防犯登録店、警察本部及び各警察署等と連携し、100%登録を目指した防犯登録制度の適正な運用に努めたほか、登録料金の値上げに伴い、その周知と登録店に対する諸対応の指導を実施した。

15 優良防犯器具等の普及斡旋

犯罪の未然防止や被害予防に効果的な防犯器具の普及を図るため、各種機会を通じ、その普及斡旋に努めた。

16 防犯功労者（団体）表彰

- (1) （公社）長野県防犯協会連合会表彰
 - ・ 防犯功労者 32名
 - ・ 特別功労者 1名

- ・ 防犯功労団体 7 団体
- ・ 特別功労団体 6 団体

(2) 関東防犯協会連絡協議会表彰

- ・ 防犯功労者 6 名
- ・ 防犯功労団体 2 団体
- ・ 特別功労者 1 名
- ・ 特別功労団体 2 団体

(3) 全国防犯協会連合会表彰

- ・ 金賞 1 名
- ・ 銀賞 2 名
- ・ 銅賞 6 名
- ・ 防犯功労団体 1 団体

(4) 県民の警察官表彰への協賛

NBSホールで行われた「第61回県民の警察官」に推薦された2名の警察官表彰に協賛し、警察官の士気高揚と地域安全に努めた。

- ・ 開催日時・場所 11月15日(水)「NBSホール」

17 組織運営（県防連の目的を達成するために必要な事業）

(1) 県防犯協会連合会の理事会、総会等の開催

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
平成28年度事業報告・決算 監事監査	5月10日(水)	長野県連合婦人会館
平成29年度 第一回理事会	5月24日(水)	ホテル信濃路
平成29年度定時総会	6月9日(金)	ホテル信濃路
平成29年度 第二回理事会	3月23日(金)	ホテル信濃路

(2) 関東防犯協会連絡協議会総会（専務理事出席）

関東防犯協会連絡協議会総会 (防犯活動地域研修会)	6月15日(木) 同日 午後	さいたま市合同庁舎 同
------------------------------	-------------------	----------------

(3) 全国防犯協会連合会主催の会議等（専務理事出席）

風俗環境浄化事業運営管理者全国会議	4月21日(金)	東京都内
都道府県防犯協会総会	4月21日(金)	東京都内

(4) 県・警察本部、その他関連団体等の行事出席

開催日・会議名・開催場所	出席者
4月11日(火) 県補助金監査 (県警本部)	専務理事
4月20日(木) 長野県警備業協会監事監査 (長野市)	事務局長
4月26日(水) 長野県警備業協会理事会 (長野市)	事務局長
4月27日(木) 長野県薬物乱用対策推進協議会総会 (長野市)	専務理事
5月1日(月) 社会を明るくする運動長野県推進委員会 (県庁)	専務理事
5月16日(火) 長野県警備業協会総会 (長野市)	専務理事・事務局長
5月22日(月) 長野県遊技業協会祝賀会 (長野市)	専務理事
5月23日(火) 長野県自転車モーター事業組合総会 (安曇野市)	事務局長
6月2日(金) 長野県暴力追放県民センター評議員会 (長野市)	専務理事
6月2日(金) 長野県万引防止対策協議会連合会表彰式 (長野市)	専務理事
6月12日(月) 長野県将来世代応援県民会議理事会 (県庁)	専務理事
6月15日(木) 関東防犯協会連絡会地域安全研修会 (さいたま市)	専務理事
6月20日(火) 長野県少年警察ボランティア協議会理事会 (長野市)	専務理事
6月21日(水) 長野県コンビニエンスストア防犯協会総会 (県庁)	専務理事
6月29日(木) 長野県犯罪被害者支援連絡協議会幹事会 (長野市)	事務局長
7月12日(水) 消費者被害防止啓発業務委託候補選定委員会 (長野市)	専務理事
7月26日(水) 長野県犯罪被害者支援連絡協議会総会 (長野市)	専務理事
7月28日(金) 長野県消費者被害防止対策推進会議 (長野市)	専務理事
8月3日(木) 長野県警備業協会理事会 (長野市)	事務局長
8月4日(金) 消費者被害防止啓発ラジオ放送企画審査委員会 (長野市)	専務理事
10月18日(水) アミューズメント営業者協会青少年健全育成懇談会 (長野市)	専務理事
11月7日(火) コンビニエンスストア防犯協会年末防犯会議 (長野市)	専務理事
11月8日(水) 長野県警察柔道・剣道大会 (長野市)	専務理事
11月15日(水) 第61回県民の警察官表彰式 (長野市)	専務理事
12月1日(金) 年末防犯・交通安全出発式 (長野市)	専務理事
12月5日(火) 長野県警備業協会理事会 (長野市)	事務局長
12月20日(水) 2027国民体育大会設立総会 (長野市)	専務理事
3月22日(木) 長野県警備業協会理事会 (長野市)	事務局長